

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の実施状況および効果検証

No	事業名	所管課	事業内容	総事業費(円)	補助対象事業費(円)	交付金充当経費(円)	事業経費内訳	事業の効果
1	公的空間安全・安心確保事業	会津若松出張所	非接触型温度顔認証端末を設置し、感染拡大防止を図る。	128,700	128,700	128,700	非接触型温度顔認証端末(1台): 128,700円	発熱者の事前確認をすることで、庁舎内での感染拡大防止に役立っている。
2	公的空間安全・安心確保事業	会津若松出張所	二酸化炭素濃度を測定するための二酸化炭素濃度モニターを設置し、空気の淀みの可視化及び積極的な換気を行うことで感染拡大防止を図る。	26,400	26,400	26,400	二酸化炭素濃度モニター: 26,400円 (8,800円×3台)	二酸化炭素濃度を測定し空気環境の状態を可視化することにより、積極的な換気へつなげることができ感染拡大防止へと役立っている。
3	公的空間安全・安心確保事業	会津若松出張所	非接触型消毒器等を設置し、庁舎内の衛生環境保持や来庁者の手指消毒徹底により感染拡大防止を図る。	98,555	98,555	98,555	非接触型消毒器等消耗品購入: 98,555円	庁舎内の衛生環境を保持することにより、庁舎内での感染拡大防止に役立っている。
4	公的空間安全・安心確保事業	会津若松出張所	感染防止のため他地域への移動や他者との対面機会を減らし、オンライン会議を積極的に活用するために使用するノートPCを購入する。	59,400	59,400	59,400	ノートPC(1台): 59,400円	ノートPCを活用し、オンライン会議を積極的に行い、感染拡大防止へ役立つことができた。
5	職員PCR検査実施事業	総務課	感染リスクのある職員に対し、PCR検査を実施し、感染拡大防止を図る。	1,572,120	1,572,120	1,572,120	PCR検査費用: 1,572,120円	濃厚接触の疑いがある職員や県外出張等感染リスクが認められる職員にPCR検査を実施し、感染拡大防止に役立っている。
6	ふるさと絆応援事業	生活支援課	町民へお米を配付し、買い物等の外出による人との接触を避け、新型コロナウイルス感染症拡大防止に繋げるとともに、経済的支援を行う。※お米5kg1袋/5,600世帯	14,857,500	14,857,500	14,857,500	お米配付業務委託費: 14,857,500円	買物等による人との接触機会を減らし、感染拡大防止の効果があつた。またコロナ禍の生活困窮者に経済的支援を行うことができた。
7	公的空間安全・安心確保事業	中通り連絡事務所	非接触型温度顔認証端末を設置し、来庁者の検温を徹底し感染拡大防止を図る。	133,100	133,100	133,100	非接触型温度顔認証端末(1台): 133,100円	発熱者の事前確認をすることで、庁舎内での感染拡大防止に役立っている。
8	公的空間安全・安心確保事業	中通り連絡事務所	感染防止のため他地域への移動や他者との対面機会を減らし、オンライン会議を積極的に活用するために使用するノートPCを購入する。	92,840	92,840	92,840	ノートPC、他消耗品等: 92,840円	ノートPCを活用し、オンライン会議を積極的に行い、感染拡大防止へ役立つことができた。
9	新型コロナウイルス感染予防事業	中通り連絡事務所	手指用消毒液の設置及び庁舎内の消毒徹底により、感染拡大防止を図る。	122,326	122,326	122,326	消毒液等消耗品費購入: 122,326円	庁舎内の衛生環境を保持することにより、庁舎内での感染拡大防止に役立っている。
10	公的空間安全・安心確保事業	保健福祉課	非接触型温度顔認証端末を設置し、来庁者の検温を徹底し感染拡大防止を図る。	259,600	259,600	259,600	非接触型温度顔認証端末: 259,600円 (129,800円×2台)	発熱者の事前確認をすることで、庁舎内での感染拡大防止に役立っている。
11	特別定額給付金給付事業	教育総務課	新型コロナウイルス感染症の経済支援策として実施された定額給付金の対象者とならない世帯に対して同額の支援を行う。	10,100,000	10,100,000	10,100,000	特別定額給付金: 10,100,000円 (10万円×101人)	コロナ禍で養育する保護者に対し経済的支援を行う事ができた。
	計			27,450,541	27,450,541	27,450,541		